



(夏の風物詩と言えば? / 所沢市某所の公園にて)

ある日曜の昼下がりに公園をぶらり。外出を控えているのか、人が少ない印象で、厳しい夏の到来を感じました。皆さんも、くれぐれもお身体ご自愛くださいませ。

命を守る選択を

皆さん、夏と言えば、何を思い浮かべますか? ラジオ体操、かき氷、高校野球や蝉の声? 夏休みの終わり間際に慌てて取り組んだ自由研究も、私にとって苦い思い出です(そして、三つ子の魂百まで)。

最近の夏という、「熱中症」もネガティブな意味での風物詩となっているように感じます。

私自身、今回、ひまわりを撮影しながら感じたのは、とにかく「暑い」。というか「熱い!」。なんだか、空気そのものが熱くて、麦わら帽子も効果は薄く、周りには日傘を差しながらハンディファンを顔に向けている人も多く見かけました。体温を超える温度の日も続いて、これから、まさに夏本番といったところでしょうか。

気象庁のホームページを見ると、8月の埼玉県(熊谷)の「日平均気温の月平均値」(分かりにくい)は、この10年間で2℃近く上昇していて、2023年の平均は30℃に迫る勢いです。2℃上昇って、思ったより少ないなあとも思ったのですが、例えば、「ひと月のうち20日間は10年前と同じ気温だけど、残りの10日は6℃も暑い」と考えると、暑くなったと感じて当然かもしれません。

また、暑さの「質」も変わったように感じて、まさか太陽が近づいているのか?なんて思ったりします(個人の感想)。ニュースでも、毎日のように「危険な暑さ」という言葉を耳にして、熱中症対策が重要な季節です。

当社でも、昨年くらいから、空調服(電動ファン付き作業服)を着用して来店されるお客様が増えています。

「長袖の空調服の下に長袖の接触冷感インナーを着用するとより効果を感じる」なんて話も聞いたりしますので、試してみるのも良いかもしれませんね。

また、当社では店頭で給茶機や塩タブレット(飴)をご用意しており、ご自由にお召し上がりいただけます。今年はレモン水が人気みたいです! 金属をお持ち込みの際には、店頭でお待ちいただく間に水分を摂りながら一息ついていただき、お帰りの際はぜひ、塩タブレットをおひとつ、口に放り込んでみてくださいね♪

分ければ資源 混ぜればゴミ

ついに始まりましたね、パリ五輪。こちらは、別の意味で熱い毎日が繰り返されています。

ところで、パリ五輪では、使い捨てペットボトルの提供・持ち込みが禁止されているそうです。選手も、水筒が支給されて、それに水を入れているのだとか。

たしかに、海洋プラスチック問題などを考えると、プラスチック廃棄物の削減に積極的に取り組む姿勢を見せるのは、(SDGs 発祥?の欧州の都市としては特に)意義のあることかもしれません。また、何かを変革するためには、長い時間か、とてつもなく強い力が必要だと思いますので、多少強引にでもやってみることは重要なのでしょう。

ただ、「ゴミを減らす」という目的を達成するために、モノそのものを禁止するのか、分別によって資源循環を目指すのか、どちらが持続可能な社会に繋がるのでしょうか。環境も経済も、と考えると、私的には、企業の「作る責任」、消費者の「使う責任」の浸透に期待してもいいんじゃないのかなあ、とも思います。

皆さんはどのようにお感じになるのでしょうか。

ちっちゃいリサイクル vol.5

先日、同僚の発言から、『折りパケ運動』の名称を思い出そうとインターネットで検索する中で、ある方の「食べ終わったポテトチップスの袋は使い終わったティッシュ等で(裏の付着物を)拭き取ればプラ資源」という発言を目にしました。たしかに、そのままでは資源としては不適切なものってあるようで、歯磨き粉のチューブなども困りものらしいです。

私も、正しい分別と、ちょっとひと手間を心掛けてみたいと思います。